

国内初出展のデジタル印刷機

オープンハウス2017で実演披露

（株）ミヤコシ（千葉県習志野市／宮腰亭社長）は11月27日、28日の両日、千葉県八千代市の同社POD事業

印刷システムを披露した。

本部クリーンルームで、『オ

オープンハウス2017

には2日間で約700名が

来場。データプリントや通

知書に限らず、出版・書籍

印刷、商業印刷、ラベル・

パッケージ、捺染まで広が

るインクジェットプリンタ

者にとり、高い用紙搬送技

術により、世界的に高速印刷時の品質安定性が評価されており、最新鋭のインクジェットプリンターにもその技術が取り入れられている。これにより同社のインクジェットプリンターの適応範囲が広がり、多種多様のアプリケーションで活用されつつある。

は液体トナー電子写真方式のB2枚葉デジタルプレス。片面毎時4000枚の高生産性で、商業印刷をはじめ、厚紙パッケージまで対応する。液体トナーは粒径1〜2μm。1200dpi画像書き込み技術と合わせて高画質を実現した。用紙厚は最大450gms。将来的にはCMYK+3色の7色印刷へのバージョンアップを予定している。

『MJP20AX』は、最新技術を駆使したプリントヘッドを採用し、高速回転インクジェット時の様々な運用課題を克服した次世代の輪転インクジェットプリンター。印刷解像度は最大で2400×2400dpi。1200×1200dpi時には最高で毎分254mの高速印刷を実現している。パンチ・ミシン加工、シート出しから製本ラインまでのオプションとの連結が可能。オフセット印刷用紙にも直接描画することができ、コスト優位性も高い。

このほかオープンハウスではB2判対応液体トナー方式電子写真プリンター『MDP8000』、液体トナー方式電子写真プリンター『MDP5000』、液体トナー方式電子写真プリンター『MDP2500』、捺染用インクジェットシリアルプリンター『MTPシリーズ』、ラベル用フルカラーインクジェットプリンター（水性インク）『MJP13LX』、ラベル用フルカラーデジタルプリントシステム『MKD13A』を展示、実演した。



オープンハウス2017で注目のMJP20AX



国内初披露のB2判液体トナーデジタル印刷機を実演

また、同じく国内初出展となる『MDP4000』

示、実演した。